

令和4年度第1回伊勢志摩国立公園地域協議会 議事概要

日時：令和5年3月7日（火）13:30～16:00

場所：三重県営サンアリーナ 国際会議室

1. 開会

- 開会にあたり、環境省 中部地方環境事務所 中山所長が挨拶を行った。

2. 議題 「令和4年度の代表的な取組」について

(1) 資料1、資料2について

- 事務局（環境省）より資料1、資料2の説明を行った。

【質問、意見等無し】

(2) 資料3について

- 資料3について各機関よりそれぞれ5分程度の取組の報告を行った。

① サステナブルツアー造成等について（伊勢志摩エコツーリズム推進協議会）

（伊勢志摩国立公園協会）

それぞれの体験で「バリフリ度」を星印で示しているが、どのような基準で作られているのか。

（伊勢志摩バリアフリーツアーセンター）

モニターツアーを作る際、バリアフリーの状況も調査した。主に修学旅行生や一般の人を受け入れる時に、その中に車いすの人や障害がある方が含まれる場合を想定している。実際に車いすの方と体験したり現場を見て検討した。車いすではハード面で難しい場所については、聴覚障がい者や、視覚障がい者の方であればどうか、という視点で検討した。

これは現状のざっくりとした評価であり、今後ツアーとして進めていく場合には、もっと進化できるのではと思う。たくさんの多様な人に参加して頂けるよう、伊勢志摩により沢山のバリアフリー対応したツアーが増えればと思う。

② 海洋プラスチックゴミ等のアップサイクル及び体験ギアリユース事業について

（伊勢志摩エコツーリズム推進協議会）

【質問、意見等無し】

③ サイクルツーリズムの推進等について（近鉄日本鉄道株式会社）

【質問、意見等無し】

④ 伊勢志摩研修旅行 SDGs プログラム等について（伊勢志摩コンベンション機構）

【質問、意見等無し】

⑤ 鳥羽のSDGs まなブックについて（鳥羽市観光課）

（中部運輸局）

宿泊施設の食品残渣に関する取組の話があったが、どのような仕組みであるか。

（鳥羽市）

市内の宿泊施設から聞いた話では、ごみの処理費用を削減することを目的にリサイクルの取組を始めたそうである。このような取組を行う事業者がいることを知って頂き、是非見に来て頂きたいと思う。

（伊勢志摩観光コンベンション機構）

先ほど紹介されたサステナブルツアー6商品を販売する予定はあるか。

（伊勢志摩エコツーリズム推進協議会）

把握してる限り、すべて商品化しており、ホームページ等に掲載されている。

3. 議題 「インバウンド受入体制向上に関する調査」について

（3）資料4について

➤ 事務局（環境省）より資料4の説明を行った。

➤ パネリストより取組の発表を行った。

① はちまんかまど 野村氏

② 集落自立支援センター 崔氏

③ 全国通訳案内士 安井氏

（伊勢市観光協会）

安井氏への質問で、お客様の食事の属性はいつ頃聞くのか。依頼があったときに聞くのか、それとも当日なのか。

（全国通訳案内士 安井氏）

事前に必ず、ガイドの方から旅行会社へ情報を聞くことが多い。お客様の情報が旅行会社から各行き先に伝わっていない場合もあるので、ガイドの方からもレストラン等に連絡し、旅行会社から情報が伝わっているかを確認している。

（伊勢市観光協会）

食のバリアフリー化も考えているものの、レストラン側としては作業や段取りが煩雑とのことで踏み切ってもらえないことが多い。今までの経験で、想定していたよりも食べられる物の幅が広がったという事例はあるか。

（全国通訳案内士 安井氏）

中東のVIPがお忍びで来られた際、きっとイスラム圏で食事制限も厳しいだろうと思っていたが、前の行程のガイドとの申し送り時に、「フードアドベンチャリストだったよ」と言われたが、実際にお会いしたらとてもリベラルな食事制限で驚いたこともある。

(三重県雇用経済部)

皆様にそれぞれ質問があり、野村氏には今どれ位お客さんが来ているか。崔氏には、韓国人観光客の伊勢志摩ベスト3を教えてください。安井氏には、県外の地域と比べて伊勢志摩の認知度が低い理由を教えてください。

(はちまんかまど 野村氏)

昨年、10、11、12月トータルで1500名くらいのインバウンドのお客さんが見えた。今年に入っても好調で、今年はコロナ前の倍のご予約を頂き、3月の末から、4月の初めは毎日のように数団体ずつ、来ていただいている。

(集落自立支援センター 崔氏)

まず横山展望台。みんな感動して写真を撮るので必ず連れていく。もう1か所は、二見の太江寺。護摩焚きでお祓いをしてくれるが、近くで見られるので皆感動する。もう1か所は「メデリン珈琲店」というカフェ。韓国人はカフェが好きで、チェーン店より個人経営のカフェが喜ばれるが、夜に営業しているカフェが少ない。モーニングで連れて行ったりしている。

(全国通訳案内士 安井氏)

個人的には、伊勢志摩の認知度が低いイメージはあまり感じない。「アマネム」は富裕層に人気があるが、アマネム周辺に何があるのか周知されていないので、何があるのか旅行会社から聞かれることがある。アマネムは富裕層や芸能人が訪れるが、そうでない方もそういう場所や、その周辺に行きたいと思うものである。シャワー効果として一般の旅行者に広がっていく可能性が高い。伊勢志摩は今後も認知度が上がっていくと思う。

(伊勢志摩バリアフリースターセンター)

バリアフリーの視点で講演を聞いている中で、インバウンドへの柔軟な対応が、障がい者への対応にも通じる部分があるという話もして頂きありがたいと思った。

例えば、障がい者の方、特に視覚障がい者にとってはカード払いや電子マネーは好まれている。これらの浸透とバリアフリー化は一緒に推進するべきだと思う。

2021年にDPI日本会議から、「国立公園のバリアフリー整備のお願い」という書面が環境省へ提出されている。引き続きバリアフリーの対応を進めて頂くとともに、この書面にある、どこかの国立公園で先行的に取り組む、ということについて伊勢志摩国立公園で実施できないか、考えて頂きたいと思う。

4. 議題 「報告事項」について

(4) 資料5について

➤ 事務局（環境省）より資料5の説明を行った。

【質問、意見等無し】

(5) 資料6について

- 事務局（環境省）より資料6の説明を行った。

【質問、意見等無し】

5. その他

- その他

（伊勢志摩国立公園協会）

鳥羽市と志摩市は全域が国立公園エリアと認識していたが、マリンターミナルの周辺は埋め立て地なので国立公園範囲外だと言われた。埋め立てたら国立公園ではなくなるのか説明頂きたい。

（環境省）

基本的には鳥羽市、志摩市は全域が国立公園だが、港湾区域や漁港区域は国立公園外となっている。鳥羽マリンターミナルの埋立て地の部分は港湾区域になるので、公園外となる。

（中部運輸局）

インバウンドだけに関して言えば、伊勢志摩国立公園がどのような国立公園なのか見えづらいと感じる。例えば、伊勢神宮や、海のアクティビティ、海の食が美味しい等があるが、特徴が見え難いため、もう少しエッジを利かせてPRしていった方がより認知度も高まるのではないかと思った。

（環境省）

ステップアッププログラムにおいて、伊勢志摩国立公園の目標等を協議しながら検討し策定したが、エッジを効かせるべきだということはそのように思う。別途、国立公園満喫プロジェクトの有識者の方からステップアッププログラムの目標が抽象的で分かりづらい、外国人から見たら似たような言葉が並んでいるといった意見もあったので、参考にさせて頂きたい。

6. 閉会

- 閉会にあたり、三重県 農林水産部 木下次長が挨拶を行った。